



109号

令和8年
(2026年)
10月発行

発行：特定非営利活動法人 りんりん

〒475-0962 半田市岩滑高山町5丁目4番地

TEL：(0569)21-3646 FAX：(0569)32-6623

<https://rinrin.or.jp/> E-mail npo@rinrin.or.jp



りんりんホームページ

彼岸花の風景を未来へ受け継ぐために

今年は、7月28日に発生した熊本地震をはじめ、異常気象による猛暑や線状降水帯による洪水など、全国で災害が続く夏となりました。これまで経験したことのない環境が今後も続くと言われており、減災に向けた取り組みの重要性を改めて感じています。一方で、自然は厳しさだけでなく、美しい季節の恵みも与えてくれます。今年も彼岸花の季節を迎えましたが、担い手不足により咲き具合が年々弱くなっていることを実感しています。

りんりんでは“※1 NPO法人ごんのふるさとネットワーク”の活動に参加し、数年前からこの環境をどう守り育てていくか検討を重ねてきました。9月13日には新美南吉記念館にて“矢勝川の未来プロジェクト”が開催され、半田農業高校農業クラブ執行部の生徒さんがこれまでの活動を発表されました。昨年12月の球根掘り起こし、1月の定植、6月の田んぼアートの田植え、そして9月26日から始まる秋まつりに向けたごんと彼岸花をめぐる紙芝居づくりなど、若い力ならではの発想と行動力で、地域の風景づくりに積極的に参加してくれています。

また、同プロジェクトは矢勝川の彼岸花の景観を未来へ残すために様々な分野で活躍している7名の協力者により立ち上げられ、

- *育てる（子どもたち・学校とともに風景を育てる）
- *守る（地域の営みとともに風景を守る）
- *楽しむ（南吉のふるさと岩滑を歩く）
- *応援する（ごんのふるさと応援ピンバッチの販売など）



という今後の取り組み方針が示されました。当日は久世半田市長も来場され、「先人が守ってきた彼岸花の風景を当たり前と思わず、力を合わせて継続していきたい」とのお言葉がありました。

平成16年（2004年）に、りんりんの拠点をここ岩滑高山町五丁目へ移して以来、岩滑のまちが変わっていく姿を見つめてまいりました。その中で、南吉のふるさとである岩滑の自然や文化、そして矢勝川の彼岸花の風景が、地域の力によって守られ続けてきたことを深く感じています。

この風景が未来へ受け継がれていくよう、りんりんとしても微力ながら協力してまいります。皆様の温かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

理事長 渡邊 千恵



※1 新美南吉のふるさと・半田市岩滑の自然と文化を守り育てるNPO法人。地域の皆さんとともに、南吉ゆかりの風景を未来へつなぐ活動を行っている。令和7年(2025年)からは、矢勝川の彼岸花の植栽・景観づくりを受け継ぎ、次世代へ向けた保全活動を進めている。

半田商工会議所会員及び会員事業所優良従業員表彰式



清水さんと榊原さん（久世半田市長と記念撮影）

9月16日、半田商工会議所において“令和8年度 会員及び会員事業所優良従業員表彰式”が開催され、**りんりん**からは清水奈穂美さんと榊原知子さんが表彰式に出席しました。おめでとうございます。



ヘルパー講習の修了式で初めて**りんりん**を知り、村上代表のお話を聞いたとき、「ここで働けたらいいなあ」と思ったことが入会のきっかけでした。ちょうど事務員の募集があり、入会してから気づけば25年、事務の仕事をしていただいています。長く続けてこれたのは働きやすい環境と、いつも温かく楽しいスタッフの皆さんのおかげです。これからも無理のないペースで仕事を続けていけたらと思っています。

事務員 / 清水 奈穂美

転居して間もない頃、市役所で手にした**りんりん**のパンフレットがご縁の始まりでした。協会員として“たすけあい”の活動に携わったときに長年遠ざかっていた“仕事”という形での社会参加がとても新鮮に感じられました。活動しながらヘルパーの資格も取得しました。あれから26年。さまざまな事情を抱えた方や、幅広い年齢層の方と仕事を通じて出会い、多くの貴重な学びをいただきました。時には私のほうが利用者さんに癒され、支えていただくこともありました。**りんりん**を通して出会えた人、経験できたこと、そしてともに過ごした時間は私の人生の宝物です。

訪問介護ヘルパー / 榊原 知子

サービス
ラーニング

日本福祉大学サービスラーニング受け入れ

8月20日から9月10日までの5日間、3名の学生が**りんりん**での様々な活動に参加し、地域での市民活動や社会貢献についての学習に取り組みました。



様々な分野で活動させていただく中で、利用者さんと職員のみならずの関わり方が印象的でした。支援に一つの正解はなく、利用者さん主体で考え、信頼関係を築きながら関わることが福祉のあり方なのだと実感しました。今回の経験を活かし、利用者さんやご家族、地域とのつながりにも目を向け、より広い視点をもって福祉について考えていきたいです。

ニックネーム
あずみ

5日間の活動で学童、パン作り教室、デイサービス、赤ちゃんサロンと幅広い年代の多様な活動に参加させていただきました。地域の中に同世代や共通点を持つ人同士がつながれる場、さらには世代や共通点を超えてつながれる場があることの強さと重要性を学ぶことができました。今回の貴重な学びを活かし、これからは世代や状態にとらわれず、広い視野を持って大学での学習に取り組んでいきたいと思っています。

ニックネーム
みさと

学童、デイサービス、赤ちゃんサロン、障がい分野の4つで活動をさせていただきました。重度の障害で話せない方と話す難しさや聴覚障害の方との意思疎通などコミュニケーションの難しさを実感しました。しかし、表情や態度、相手の立場、年齢を考えた関わり方を活動を通して学ぶことができました。今後の実習で今回学んだことを活かしていきたいと思います。

ニックネーム
N

食べる楽しみも増える秋。旬の味覚を味わいながら元気に過ごしましょう！！

夏まつり（8月25日）



狙いを定めて
わなげに挑戦！

体操をしたり、工作をしたり、
皆さんそれぞれの時間を楽
しんでいます。
おしゃべりに花を咲かせることも
デイサービスの楽しみのひとつです。



「右、右ー！」
「もう少し前！」
皆様で声を掛け合いながら
スイカ割りに挑戦！



一緒にちぎり絵や折り紙で花の制作を楽しみました。

利用者様手作りの蓮の花。



夏の定番“冷やし中華”
リクエストの
多いメニューです

りんりんの活動の様子を
インスタグラムで紹介しています



RINRIN_YANABE

お気軽にお問合せください

特定非営利活動法人 りんりん

〒475-0962 半田市岩滑高山町5丁目4番地

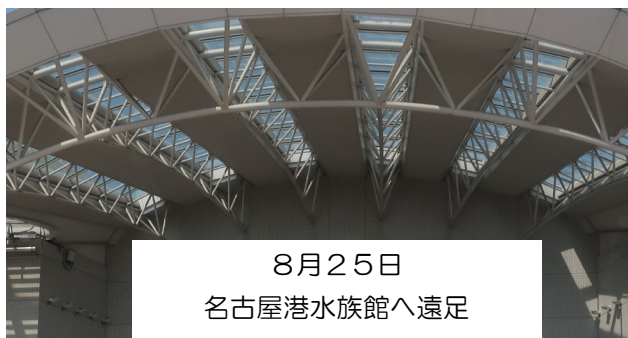
TEL : (0569)21-3646 FAX : (0569)32-6623

<https://rinrin.or.jp/> E-mail npo@rinrin.or.jp



1年生	9名
2年生	17名
3年生	15名
4年生	19名
5年生	5名
6年生	10名
合計	75名

令和8年9月末現在



8月25日
名古屋港水族館へ遠足



7月25日 りんごまつりには招待した友達やりんごクラブのOBなど多くのお客様が来てくれました。



おやつにかき氷作りをしました。



今年も染物体験をしました。試行錯誤しながら真剣に取り組んでいました。



みんなdeランチ
夏休みの毎週木曜日はみんなで昼食作りをしました。

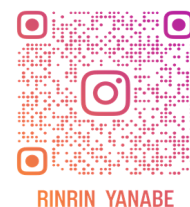
2026まちづくり協働フェスタ

9月12日 クラシティにて“2026まちづくり協働フェスタ”が開催されました。

市内で活躍する市民や市民活動団体、学校、事業者などが、お互いにまちづくりのために取り組んでいる活動を紹介し、体験を通してつながりを作り、活動の輪を広げていくイベントです。

りんりんからはさをり織りとやなべ小町による手作り小物の販売、体験コーナーを出店しました。お花のブローチ、ファスナー付きポーチ、さをり織りのコースター作りなどを体験していただきました。参加者の方から「さをり織りは好きな色や糸を自由に選び、自分の思うままに織るところが楽しかった」と感想が寄せられました。

地域の方々と直接お話ししながら、**りんりん**の活動を知っていただく貴重な機会となりました。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



多世代交流事業の様子はInstagramにて発信しています。ぜひチェックして「いいね」やフォローをしてくださると嬉しいです。

事例検討会

居宅介護支援NPO合同事例検討会

9月8日 りんごびあにて、半田市内のNPO法人が合同で事例検討会を開催し、3つの居宅介護支援事業所のケアマネジャーが参加しました。

今回はグループワーク形式で在宅での居宅介護支援における成功事例や困難事例について、参加者同士で意見や助言を交換しながら支援のあり方を検討しました。それぞれの経験や視点を共有することで、新たな気づきや学びを得ることができました。今後も在宅で安心して暮らし続けられる支援につなげるとともに、居宅介護支援の質の向上に努めていきます。



ありがとう
ございます



皆様のあたたかいご支援がりんりんを支えています

賛助会員 …（敬省略） 小林 叡子

ご寄付をいただいた方 …（敬省略）

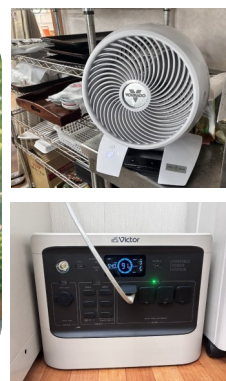
小野田 靖 出口 清美 ファミマフードドライブ(やなべ高山店、岩滑西町店) フードバンク「はんだむすびんの家」
（野菜、飲料水、お菓子、金一封匿名）



ご利用者様よりいただいた寄付金で、吸引器を購入いたしました。
緊急時にも必要なケアを継続できる体制を整え、安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。
温かいご支援心より感謝申し上げます。

愛知県介護サービス提供体制確保支援事業費補助金の活用

物価上昇や猛暑、災害など、介護サービスの継続に影響が出やすい状況が続く中、補助金を活用し、**りんりん**ではネッククーラー、サーキュレーター、ポータブル発電機、モバイルソーラーバッテリーなどの物品を整備しました。これらは、猛暑時の移動支援や、エアコンのない環境での訪問支援、災害時の電源確保などに役立つものです。ネッククーラーを支給した訪問ヘルパーからは「移動時や暑い室内での支援に使えるので、とても助かっています」との声が寄せられています。また、事務所のヘルパー控え室には、ウォーターサーバーやイオンウォーター、塩タブレットなども完備しており、利用者の皆さまへ安心してサービスを届け続けられる体制づくりを進めています。



ヘルパー研修

りんりんでは介護職員の資質向上のため毎月研修を行っています

7月 緊急の対応について（動画視聴）

いつもと違う、様子がおかしいと思ったら早めの判断をし、必要ならば医療につなぐ。ご利用者の情報を整理しておくなど事前準備が必要だということが分かった。 Nさん

8月 介護事業所のカスハラ対策の義務化について（動画視聴）

事業所のカスハラ対応がしっかりと整備されていれば、現場の私たちはひとりで悩まずストレスなく安心して支援ができる。ご利用者の小さなサインに気づき、勘違いや誤解を招かないように自分の言動に注意して接する。客観的に事実を正しく記録し、情報共有につとめたい。 Sさん

【ハラスメント防止に関するご案内】

令和8年10月より、全国の事業所で「ハラスメント防止措置」が義務化されました。これに伴い、**りんりん**でも職員の安全と健康を守るための取り組みを進めています。お互いに尊重し合い、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

9月 業務継続計画(BCP)の策定とシミュレーション 講師 / 名古屋柳城短期大学 教授 大崎 千秋 氏

講師の実際の体験をお聞きして、想像以上のことが発生することを実感した。ヘルパーもご利用者もお互いの身の安全の確保ができるように日頃から考えていきたい。 Sさん



多世代交流事業利用者数



会 員 数

賛助会員	26名
利用会員	21名
協力会員	68名
合計	115名

令和8年9月末現在

	7月	8月	9月
生き活きサロン	70名	37名	80名
さをり織り	38名	21名	30名
絵手紙	休み	6名	7名
やなべっ子食堂	55名	52名	67名
やなべ小町	19名	休み	20名
りんごびあであそぼ!!	14名	休み	13名